

レビ記 27 章の講義の中で、（2024 年 9 月 26 日 ZOOM 聴講）

新共同訳・レビ 27:2 イスラエルの人々に告げてこう言いなさい。もし、終身誓願に相当する代価を、満願の献げ物として主にささげる場合、

口語訳・レビ 27:2 「イスラエルの人々に言いなさい、『人があなたの値積りに従って主に身をささげる誓願をする時は、

主に関する 命 一揃い 理由 誓い 驚く なので 人 これら 言った ト イスラエル 子 これら 話す

דָּבַר אֵל בֶּן יִשְׂרָאֵל וְאָמַר אֶל אִישׁ כִּי פָלֵא נִדְרָו בְּעֵרְךָ נֶפֶשׁ לַיהוָה

**נִדְרָו** neder {neh'-der} を誓って、2 を誓います； 60 1) 誓い、奉納供物

**פָּלֵא** pala' {paw-law'} 1 動詞 Hi f 未 3 男単語尾消失 c) (Hiphil) 1c1) 造に素晴らしい 1c2、並はずれたか**困難**であるか**難しい**ことをするには、素晴らしくしてください。 1d) (Hithpael) 素晴らしいか、または素晴らしい状態で自らを見せるために

ネダルとパラウの二語の語積から、「困難な捧げもの」と訳うことが妥当であり、困難な捧げものは、死に値する捧げもので、マルコ 7 章 10、11

マル 7:10 モーセは、『父と母を敬え』と言い、『父または母をののしる者は死刑に処せられるべきである』とも言っている。 7:11 それなのに、あなたたちは言っている。『もし、だれかが父または母に対して、「あなたに差し上げるべきものは、何でもコルバン、つまり神への供え物です」と言えば、

と記されている様に、死刑に処せられるべきものであっても、供え物（コルバン）で帰られたことが記されています。

そして、主の十字架への代価が、銀 30 枚

ゲッセマネの祈りを経て、十字架を覚悟したのだから、銀 50 シケルを神殿に納める必要はないわけです。イエスご自身の身を捧げるわけですから。イエスが払う必要なく、イエスを神を冒瀆する罪で、死罪にしたい祭司たちが、ユダに裏切らせて、ユダ銀貨 30 枚を、マタイ 26:14 そのとき、十二人の一人で、イスカリオテのユダという者が、祭司長たちのところへ行き、 26:15 「あの男をあなたたちに引き渡せば、幾らくれますか」と言った。そこで、彼らは銀貨三十枚を支払うことにした。

ユダはイエスが有罪になってしまうとは思はなかったが

**マル 14:64** 諸君は**冒涇**の言葉を聞いた。どう考えるか。」一同は、死刑にすべきだと決議した。

イエスは、弁明もせず、裁きが降り、ユダの考えていた事の、イエス様の神の業も示さず、一人の人として裁かれてしまったことに大変驚いてしまった。

マタイ 27:3 そのころ、イエスを裏切ったユダは、イエスに有罪の判決が下ったのを知って後悔し、銀貨三十枚を祭司長たちや長老たちに返そうとして、

とあるように、ユダは、祭司長たちに銀を返して、イエス様は無理でも、ユダ自身のイエス様を裏切り、死を招くに至った、ユダの罪を赦してもらおうと、銀貨を戻したが、神殿として受け取られなかったため

27:4 「わたしは罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました」と言った。しかし彼らは、「我々の知ったことではない。お前の問題だ」と言った。

「罪を犯しました」贖罪の捧げものとして、銀貨30枚を捧げたが、祭司長たちは、それを捧げものとして、受け取らなかったのです、

27:5 そこで、ユダは銀貨を神殿に投げ込んで立ち去り、首をつって死んだ。27:6 祭司長たちは銀貨を拾い上げて、「これは血の代金だから、神殿の収入にするわけにはいかない」と言い、

と、銀貨を彼らが贖罪の捧げものとして受け取っていけば、マルコ7章10、11より、自分の捧げるべき命を、銀貨の支払いに変えることが出来、ユダは死ななくて済んだわけです。

以上のように、レビ記27章2節をイエスの十字架、ユダの裏切りまで、つなげることも可能かと、思いました。

これは、私の朝の目覚めのひらめきから、レビ記の学びが、ユダに結びつけることが出来た驚きです。

以上